

令和4年度「産科管理者研修会」
鹿児島県の母子が抱える課題から対策を考える

日時：令和4年9月24日（土）9：30～12：30

場所：鹿児島県看護協会 看護研修会館 2階視聴覚室

目的：鹿児島県の母子支援のための産後ケアの問題を共有し、医療機関における母子のための産後ケアの課題を見出すことができる

対象：産科管理者、各施設の助産師、看護師

参加者：会場6名、Zoom12名

プログラム

・講演

テーマ「鹿児島県の母子が抱える課題と対策」

講師 鹿児島県くらし保健福祉部子ども家庭課
下原 貴子 技術補佐



・現状報告

- 1) 鹿児島市立病院 松本 美千代 副看護師長
- 2) 種子島産婦人科医院 遠藤 美子 看護師
- 3) みつおハウス 東 祐美子 施設長
- 4) 宇検村役場 保健福祉課 古島 敦子 主幹兼係長

・意見交換

下原貴子先生より、鹿児島県の母子に関する統計の報告や、母子を取り巻く環境や現状についてのご講演を頂き、よりいっそう助産師のきめ細かい支援の必要性を再認識させられました。

また、各施設からの現状報告では、事例紹介などあり母子が抱える問題解決は、他職種や地域との連携、そして切れ目なく支援していくことであるとその地域ならではの報告となりました。今回離島からの報告があり活発な意見交換となりました。

